



# デメテール Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.30

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2004.夏

デメテールはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。



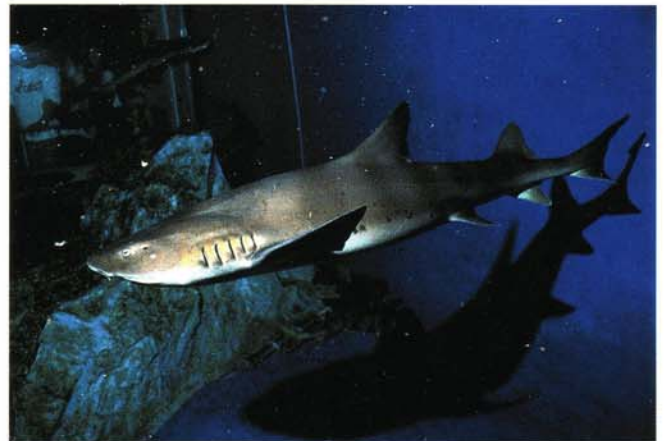
ホホジロザメのあご(現生)



シロワニ(提供:鳥羽水族館)



パレオカルカリアス・ストロメリ(ジュラ紀)



ドチザメ(提供:鳥羽水族館)

## 第22回企画展「海の王者 サメ」

開催期間 平成16年7月17日(土)～9月5日(日)

海にはたくさんの生き物がありますが、「海の王者」と言われて最初に思い浮かぶ生き物といえばサメではないでしょうか。しかし、サメというと人間を襲う凶暴なイメージばかりが先行し、その多様な世界についてはあまり知られてないようです。サメ類は約4億年にわたる進化の歴史を持ち、現在では体長12m以上にもなるジンベイザメからわずか20cm程度のカラスザメ類まで多様な種類が生息しています。

今回の企画展ではサメ類の進化やその特色ある生態、そしてサメと人間との関わりなど、様々な角度からサメ類について紹介します。特にサメ類の剥製標本や生体展示、群馬から見つかった謎のサメ化石「ヘリコプリオン」の実物の展示など多くの標本を展示します。

今年の夏、自然史博物館に出現するサメ類のすむ雄大な海をお楽しみください。

(学芸グループ 木村敏之)

企画展記念講演会

### 「海の王者 サメ」

—その進化と関東周辺のサメの歯の化石—

日時：平成16年8月7日(土)午後1時30分より

講師：上野輝彌(国立科学博物館名誉研究員)

内容：サメ類の進化や群馬県内をはじめ関東周辺から発見されたサメの歯化石について講演を行います。

A-3 「群馬の恐竜」をリニューアル!

昨年、新たに2種類の恐竜が報告され、群馬から見つかった恐竜の骨化石は3種類になりました。そこで、これらの恐竜化石用に新たな展示ケースを作製し、別ケースに列品していたサンチュウリュウと新発見の恐竜化石2点、比較用歯化石1点をそのケースに収めました。そして解説パネルも3種類を紹介するものに変更しました。簡単ですが改めて3種類の恐竜を紹介したいと思います。



写真1

加瀬友喜さん、中島秀一さんが発見した群馬初の恐竜サンチュウリュウ(写真1)は、オルニトミモサウルス類(ダチョウ型恐竜類)の胸胴椎の一部です。白亜紀前期のこの仲間の化石は世界的に少なく、群馬の標本は世界的にも貴重です。1999年に論文を公表しました。



写真2

松本良輔さんが発見し、2003年に論文公表したスピノサウルス類(写真2)の歯はアジアでも2例目、国内では初めて見つかった種類です。

この仲間は細長く華奢な頭を持ち、魚を主食にしていたと考えられます。歯は細長く、表面にワニの歯に似た条線がありますが、他の肉食恐竜の様なギザギザ(鋸歯)はありません。今回のリニューアルではスピノサウルス類の代表種であるスピノサウルスの復元図も展示ケース前に設置しました。これはイラストレーターの小田隆さんが昨年夏開催した「化石の世界」展(県庁昭和庁舎で開催)のために描いた素晴らしい作品です。ぜひ常設展示室でご覧ください。



写真3

以上の2点の恐竜は瀬林層産ですが、さらにその下の石堂層からも肉食恐竜が見つかりました(写真3)。典型的な肉食恐竜の歯で、歯の縁にギザギザがあります。これは渡辺幸雄さん、藤本艶彦さん両名協力によるレプリカで、実物は神流町恐竜センターに所蔵されています。

これらの群馬産の恐竜化石を眺めていて奇妙なことに気づきました。それは群馬産恐竜化石が肉食の系統ばかりで、イグアノドン類やティタノサウルス類など植物食恐竜が見つかっていないことです。一般的な生態系では肉食動物に比べ、そのエサとなる植物食動物の数が圧倒的に多いですから、化石になる確率もそれに比例して植物食動物の方が高いはずなのです。

ひょっとすると植物食恐竜は今でも地層の中に眠っていて、誰かが発見してくれるのを待っているのでしょうか?群馬の恐竜時代にはまだまだ多くの謎が秘められているようです。

(学芸グループ 高栗祐司)



## ファミリー自然観察会のご案内

当館では、家族で楽しみながら学んでいただけるように、県内各地で観察会を行っています。年間に4回行い、動物・植物・地層・化石などいろいろなテーマを設定して、専門の講師にお話を聞きながら観察していきます。



昨年度、観察会（野鳥観察）の様子

昨年度は何回か雨天となってしまった観察会もありましたが、みなさん楽しかったと満足していただきました。今年度は下のよう、3回の観察を予定していますので、ご参加お待ちしております。

なお、申し込みは往復はがきのみとなっていますので、お間違いのないようお願いします。定員を超えた場合は、抽選とさせていただきます。ご了承ください。

### 今年度の予定

- 第2回 平成16年8月1日(日)  
10:00~12:00 定員：30人  
「里山昆虫の観察」  
場所：太田市こどもの国(金山)
- 第3回 平成16年9月23日(日)  
10:00~12:00 定員：40人  
「地層と化石の観察」  
場所：高崎市雁行川
- 第4回 平成17年2月20日(日)  
10:00~12:00 定員：30人  
「冬鳥の観察」(詳細は調整中)

## 博物館ボランティア募集のお知らせ

当館では、下記のような内容で博物館ボランティアの募集を行います。自然に関心のある方、自分の生活をより充実させたいと考えられている方、ぜひ、応募してみませんか？

### 【活動内容・募集人員】

- ★解説ボランティア 15名(先着順)  
館内の常設展示室で来館者に解説を行います。
- ★サタデーボランティア 15名(先着順)  
生物・地学関連の簡単な実験・観察・物づくりを行うサイエンス・サタデー(毎週土曜日実施)の指導や補助を行います。
- ★資料整理ボランティア 3名(先着順)  
博物館収蔵資料(古生物に関するもの)の標本管理の補助を行います。

### 【資格・条件】

- ★動物、植物、化石等の自然に関心がある方
- ★月1~2回程度、博物館にきて活動できる方
- ★事前の研修会に参加して学習できる方
- ★高校生以上の方

### 【応募方法】

- ★はがきまたはファックスに、希望するボランティア名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入して自然史博物館までお申し込みください。

### 【申込期間】

- ★平成16年6月22日(火)~8月14日(土)

### 【事前研修と活動開始】

- ★事前研修を8回(第1回：8/28 第8回：12/11)行います。この研修を6回以上受講された方を博物館ボランティアとして登録し、平成17年1月から活動を開始します。

### 【その他】

- ★ボランティア活動に対しての報酬、交通費、昼食代等は支給できませんのでご了解ください。



# 新収蔵資料 ラブカ

ラブカはカグラザメ目ラブカ科に属するサメで、1884年に日本で採集された標本に基づいて新種として記載されました。以前は日本周辺だけに生息すると考えられていましたが、現在では世界中にいることがわかっています。彼らは水深1000m程度の深海域に生息し、主に魚類やイカ類を食べています。外形は一般的な「サメ」というイメージとはかなり違い、まるで大きなウナギ、あるいはヘビのような細長い体型をしています。全長はおおよそ2mになります。

今生きているほとんどのサメでは口が頭の下側にありますが、ラブカでは口が頭の前にあります。これは古生代の頃に繁栄していた初期のサメ類と同じ特徴です。ほかにもラブカは歯の形が3分岐しているなど原始的なサメ類とよく似た特徴を多く持つことから「生きた化石」と呼ばれることもあります。



企画展「海の王者 サメ」では、ラブカをはじめとしたサメ類剥製標本やサメの生体展示、サメ類化石などを展示します。

(学芸グループ 木村敏之)

## インフォメーション (7月～9月の予定)

第22回企画展「海の王者サメ」 7月17日(土)～9月5日(日)

7月 6月29日(火)～7月6日(火) 燻蒸休館

25日(日) 自然史講座「カヤネズミの話 ～群馬の希少動物をみんなで守ろう～」

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「動物の歯を調べてみよう」

8月 1日(日) ファミリー自然観察会「里山昆虫の観察」

7日(土) 企画展記念講演会「海の王者 サメ –その進化と関東周辺のサメの歯化石–」

21日(土)～22日(日) 博物館探検隊

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「サメの飛び出す絵本」

9月 23日(祝) ファミリー自然観察会「地層と化石の観察」

毎週土曜日 サイエンス・サタデー「空飛ぶアンハングエラ」

### 利用案内

- 開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日、ただし8月16日は開館)
- 観覧料 一般500円(400円)、高校・大学生300円(240円)  
7月17日～9月5日の企画展開催中は、一般700円(560円)、400円(320円)  
※中学生以下・障害者手帳をお持ちの方及びその介護者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金

### ■凡例

- 実験室行事
- ファミリー自然観察会
- 自然史講座などの学習室行事
- 電話で申し込み
- 往復ハガキで申し込み

### 休館日

○印の日は休館いたします。

	日	月	火	水	木	金	土
7月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
8月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
9月	29	30	31				
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
	1	2	3	4	5	6	7

群馬県立自然史博物館だより Demeter No.30

編集・発行 群馬県立自然史博物館 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1  
Tel.0274-60-1200 Fax.0274-60-1250  
ホームページ <http://www.gmnh.pref.gunma.jp/>